

NPO 法人 やまぼうし自然学校

ニュースレター

2011 年度 春号

東日本大震災で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。
被災地の一日も早い復興をお祈りし、私たちもできることから動いていきます。



森には宝物がいっぱい！(サマーキャンプ in 信州：撮影 直井保彦)

代表理事よりご挨拶**

加々美貴代（がみちゃん）



「思いを伝え、広めること」難しいけれど、重要なこと。やまぼうし自然学校が目指すことを少しでも多くの皆さんに知って欲しい。その手段の一つとして毎年多くの助成金の申請をしている。確率は低いけれど、今年も趣旨に賛同いただきご支援をいただけることになった。お互いの「思い」と「思い」が重なって、相乗効果となって広まってくれることを願う。「思い」を伝える手段として、「森とつながる」ための様々なイベントを開催します。あなたの時間をすこしやまぼうしで使ってみませんか？

発行：特定非営利活動法人 やまぼうし自然学校
住所：〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1223-5751
TEL：0268-74-2735 FAX：0268-74-2795
Email：info@yamaboushi.org URL：http://yamaboushi.org

3, 4, 5月の実施事業

■事務局

インタープリタースキルアップ研修（4月10日、12日 長野）、MFA（救急救命）講習（4月15日 長野）、RQ センターボランティア（4月21日、22日、23日）、理事会（5月15日）

■事務局

森を楽しむ講座ガイダンス（3月6日、7日 東京）、森を楽しむ講座（3月26日 東京）、森を楽しむ講座（4月16日、17日 東京）、やまぼうしインタープリター養成講座（4月17日、20日 長野）、森を楽しむ講座（4月21日 東京）、森を楽しむ講座（5月19日 東京）、森を楽しむ講座（5月21日、22日 東京）

■体験学習

新発田市立七葉小（4月26日）、高岡市立高陵中（5月10日）、武蔵野東学園武蔵野東小（5月11日、13日）、深谷市立川本中（5月16日）、学芸大学付属竹早中（5月17日）、伊那市立東部中（5月17日）、柏市立手賀中（5月19日、20日）、流山市立東部中（5月21日）、柏市立第三中（5月26日）、長野県東御清翔高（5月26日）、伊奈町立伊奈中（5月26日）、船橋市立習志野台中（5月26日）、豊明小（5月26日）、流山市立南部中（5月29日、30日）、我孫子市立湖北中（5月29日、31日）、富津市立天羽中（5月30日、31日）、流山市立東深井中（5月30日）

■森でもりもり遊び隊／フォレストキッズ

遊び隊説明会（4月26日、29日）、はじめましての回（5月15日 遊び隊）、雨水集め（5月28日 フォレストキッズ）

■イベント

いつでもガイド・スノーシュー（3月6日 長野）、こんにゃくづくり（3月10日 長野）、手前味噌作り（3月19日 長野）、春の森遊びと焚き火料理（4月29日 長野）、春の大人のキャンプ（5月3日、4日、5日 長野）、春の里山登山（5月8日 長野）、高尾自然観察会（5月14日 東京）、森の春探しと山菜パーティー（5月14日 長野）

■委託

黒川野外活動センターネイチャーボランティア（3月6日、4月3日、5月7日 東京）、塩田公民館里山講座（3月24日 長野）、野外活動リスクマネジメント講座（4月30日 長野）、わんぱく大学河口湖（5月11日～13日、5月18日～20日、5月25日～27日 長野）、丸子北中コスモス大学（5月19日 長野）、長野短期大学ネイチャーゲーム講習（5月21日 長野）、別所線と走ろうイベント出店（5月21日 長野）

誰が、何してる？

答えは8ページ

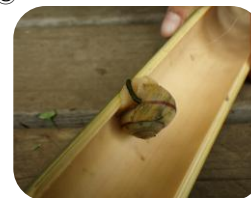
①



②



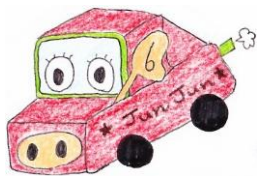
③



きっかけづくり屋の毎日

「今日も気持ちいいなあ・・・」
菅平に向かう道中、日に日に濃くなる山の緑と太陽がまぶしくて、いつも朝から上機嫌になります。

自宅から菅平までは、ちょっと長めのドライブ通勤。朝早い時間帯はほとんど車が通らず、愛犬と散歩をしているおじいちゃんを見かけたり、ウォーキングしている奥様を見かけたりするだけ。通学時間帯になると、ランドセルを背負った小さな子ども達が出てく歩く姿ににっこり。朝の生活の動きを感じながら、菅平を目指して車を走らせます。今日はどんな発見があるかしら？どんな子ども達と会えるかな？と。



運転中、周りを見渡せば、耕された田んぼには水が入り、小さな稲が植えられています。太陽の光でキラキラ光る水面と苗の緑は、この時期ならではの慣れた光景。菅平まで来れば、広い畑には新鮮野菜がぶわあ〜と並び、こちらも本当に見事です。

「ここを通るとクリの花みたいな匂いがするな」とか、「この場所に入ると木の香りが強くなる」、「雨みたいな匂いがする」などなど、目だけでなく鼻でもしっかり自然をキャッチ。鳥の声や虫の声を聞いては、移動中さえもネイチャートレイルのビンゴをしているようだな〜と。のんきにこんなことを考え、毎日ドライブ気分で贅沢な時間を満喫しています。

移動中の車内からでもたくさんの発見がありますが、森に行けばもっともっと、じっくり、ゆったり、楽しい時間を過ごせます。



先日実施した森林整備のイベントで、ある男の子が言った言葉が印象的でした。

「木の切り口からパン粉がたくさん出てきたよ！」（木の木くすを見て）
「恐竜が食べる葉っぱがいっぱいあるね〜！」（シダ植物を見て）

子ども達の発見と驚き、たくさんのつぶやきを拾って、森を好きになる“きっかけ”づくりをしたいと思っています。私自身も、いろいろな視点で見る・感じる・見つける面白さの虜です。森の楽しさをたくさんの人と一緒に感じて共有したい！

皆さ〜ん、菅平高原で楽しいこといっぱいしませんか？



文・西澤 純子

絵・佐藤 明希

体験学習レポート

学校から、速達で封筒が届いた。
中の冊子の表紙には、「2011 四阿山」とあり、版画デザインで山と花の素敵な絵が印刷されている。2泊3日の林間学校（遠足）で菅平高原へやってくる東京の中学校からの「しおり」だ。

1ページめくると、ページいっぱいに大きな筆字で、「共に四阿山」。林間学校の目的地は、「四阿山、根子岳」とある。菅平高原とは書かれていない。



40ページにわたる1冊のしおりに、林間本番に向けた生徒の熱い取り組みと膨大な準備量を感じた。

実際、総リーダー（生徒）の言葉にこうある。

「長い準備期間を過ごしてきました。

最初で最後の遠足が、素敵なものになるように、共に頂上を目指しましょう。」

全員ニッカボッカ、登山用の長ズボン、ハイカットの登山靴。

総勢130名の生徒と11名の先生に、やまぼうしのガイド4名が登山をサポートした。ただの道案内ではない。

全員で山頂に、という生徒の想いと長い準備期間と一緒に背負い、山頂を目指す。

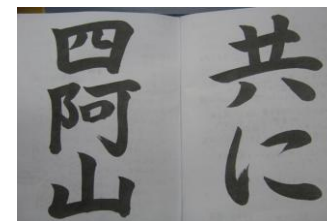
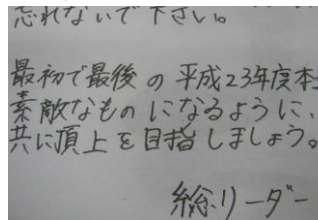
やまぼうし自然学校は、年間約80校へ体験学習を提供する。

プログラムの時間は、3時間〜3日間と、学校によりさまざまだ。

時間の長短にかかわらず大切にしているのは、学校ごとに異なる体験学習の「位置づけ」（目的）。それにより、児童・生徒への働きかけ方が決まるからだ。

学校とやまぼうしスタッフをつなぐしおり。帰るときにははわくちやに…。

「達成感」という1ページが加わるように、これからも想いを実現する体験学習を提供したい。



文・瑞慶覧 明子

自然体験活動指導者養成講座

今年度から施行された新学習指導要領には、道徳や総合的な学習の時間を使って自然体験活動等の体験活動を行うよう明記されました。本講座は、そうした学校教育現場で自然体験活動を支援する「自然体験活動指導者」の養成講座です。

既に CONE 資格をお持ちの方は、修了すると全体指導者として登録できます。この講座だけを受講される一般の方は、補助指導者として登録できます。ぜひご参加ください。

◆主催 NPO 法人自然体験活動推進協議会、主管 NPO 法人やまぼうし自然学校

＜全体指導者とは＞

- ・ 青少年の体験活動を指導する
- ・ 小学校等が実施する体験活動に対して助言・調整を行う

＜補助指導者とは＞

- ・ 全体指導者の指示で青少年の体験活動の指導補助を行う
- ・ 教員等の指導補助として、青少年の健康、安全等生活にかかわる指導を行う

【東京会場】 2011 年 9 月 17 日 @エコギャラリー新宿

【長野会場】 2011 年 10 月 29 日 @菅平高原

講座内容：学校教育における体験活動の意義、教育課程と体験活動の関連性

講師：信州大学教育学部教授 平野吉直氏

森を楽しむ講座

子どもゆめ基金助成事業

次回の「森を楽しむ講座」は…

■森林インストラクターチャレンジコース

8 月 6 日（土）実技：亜高山帯針葉樹林観察、ブナ林観察
@志賀高原 & 奥志賀カヤノ平

8 月 7 日（日）講義：森の動物、昆虫、試験のポイント解説 @菅平高原

9 月 10 日（土）実技：木曽ヒノキの森観察 @赤沢自然休養林

9 月 11 日（日）模擬試験 または
実技：水木沢天然林観察、木工所見学
@木曽川源流 & 水木沢天然林 他

※詳細は、お問い合わせください。各回ごとの参加も可能です。
やまぼうし自然学校ホームページにも掲載しています。

やってみて！野外レシピ

○● 意外と簡単＆芸術的！あつあつ肉まん・ピザまん ○●

■生地準備(12 個分)

1. ビニール袋に、薄力粉（300g）、ベーキングパウダー（小さじ 3）、塩（小さじ 1/4）砂糖（大さじ 2）を入れて混ぜる
※ピザまんの生地には、カレー粉（小さじ 1）を入れて色づけしておく
2. 牛乳（180ml）を加えてよく混ぜる
3. サラダ油（大さじ 2）を加えて、さらによく混ぜる
4. なめらかになって袋に粉がつかなくなったら、袋から取り出し、濡れ布巾をかけておく



■具をつくり、包む

1. 玉ねぎをみじん切りにし、合いびき肉と一緒に炒める
2. 火が通ったら、砂糖と醤油（肉まん）& ケチャップと塩コショウ（ピザまん）で少し濃めに味をつける
3. 肉まんの具には、水溶き片栗粉、ピザまんの具には、とろけるチーズを加える
4. 休ませておいた生地を 12 等分し、手のひらで直径 10 センチ程度に伸ばす
※端を少し薄めに伸ばすとよい
5. 生地真ん中に具をのせて、ひだを作りながら包む
6. 蒸し器に並べ、10 分くらい強火で蒸す



森でモリモリ遊び隊

3月13日 震災のため活動を中止

後日記念品と遊び隊修了証を送付してしめくり。

5月15日 はじめましての回 小学1年～中学1年まで37名が沢で遊んだり、虫眼鏡火熾しに挑戦したり…。遊び隊の経験者は、とっておきのフィールドを紹介し、最初は緊張していた初参加者も、終わるころには、自然体験の森中に笑い声が響いていました。今年は何が起ころかな～？



まずは、遊び隊バッチづくり



「今日の火熾しは虫眼鏡でやってみよう！」というわけで挑戦！



いえ～い、成功！この瞬間がたまらない



沢でもたっぷり遊びました



不格好でも、おいしいヨモギホットケーキ



突然、竜巻発生！この後みんなで竜巻の足跡を見に行きました

フォレストキッズ

3月12日 震災のため活動を中止

後日記念品と手紙を送付し、一年間の活動のしめくり。

5月28日 雨水集め&所沢の歴史、自然などの展示見学

雨にも負けず、2011年度フォレストキッズの活動のはじまり。



誰が一番たくさん集められるかな？



展示室にて。自分たちの町のことも、まだまだ知らないことがいっぱいだったね

「学校林・遊々の森」 全国子どもサミット in 信州

とき：2011年8月4日（木）～5日（金）

ところ：浅間温泉文化センター

〒390-0303 長野県松本市浅間温泉2丁目6番1号



2011・国際森林年

主催：「学校林・遊々の森」全国子どもサミットin 信州 実行委員会

実行委員会構成：林野庁、中部森林管理局、（公財）オイスカ、（社）国土緑化推進機構、長野県、（財）長野県緑の基金、長野県教育委員会、松本市、松本市教育委員会、（財）日本森林林業振興会長野支部、（社）全国森林レクリエーション協会長野支部、NPO 法人やまぼうし自然学校



「学校林・遊々の森」全国子どもサミットは、学校林・遊々の森活動に取り組む児童の活動発表等の情報発信を通じて、その活動の輪を全国に拡げていこうとするものです。2011国際森林年記念イベントとして開催されます。一般の方も、以下の交流会と発表会を入場無料でお聞きいただくことができます。予約不要です。ぜひ、この機会に、全国の学校林や遊々の森活動に取り組む児童たちの発表をご覧ください、これからの森づくりを一緒に考えていきましょう。ご参加お待ちしております。

【一般傍聴できるプログラム】

■8月4日（木） 13:20～17:00

- ・海外の学校林関係者を囲んでの交流会
- ・「学校林・遊々の森における活動」や「森づくりの夢」の発表会

【参加小学校一覧】

（北海道）湧別町立芭露小、（山形県）米沢市立三沢東部小、（長野県）大町市立大町北小、松本市立本郷小、松本市立中川小、松本市立会田小、松本市立岡田小、松本市立寿小、松本市立明善小、松本市立今井小、松本市立源池小、松本市立波田小、松本市立錦部小、（富山県）南砺市立上平小、（山梨県）甲府市立相川小、（愛知県）豊田市立寿恵野小、豊田市立上鷹見小、岡崎市立生平小、（香川県）高松市立屋島東小、（長崎県）東彼杵町立彼杵小

イベントレポート 東京支部

高尾自然観察会 (11.05.14)

気持ちのいい快晴に、大きく深呼吸して今年も高尾観察会が始まりました。早朝から登山者が続々と集まるバス停には、長蛇の列。今回初めてやまぼうし自然学校のイベントに参加して下さる方も多数迎えて、私たちも臨時バスに乗り込みました。ハイキングがメインの今回は、体力に合わせて昼食後のコースを選択できるようにしてみました。



企画担当：丹野 雅之



集合場所の高尾駅北口は、社寺風デザイン。大正天皇大喪列車の仮設駅舎を、新宿御苑から移築したものです。私たちのよく利用するフィールドである新宿御苑がここともつながっていることに、御縁を感じます。震災後には観光客が一時減少した高尾山ですが、GWには賑わいが戻ってきました。



小仏峠までバスに揺られたら、登山口を目指して観察会がスタートです。葉の中心に花が咲き、実をつけるなんとも愉快的ハナイカダを始め、高尾山の新緑がまぶしい中をゆったり歩きました。急な登りは汗が噴き出す陽気でしたが、小休止すると、樹幹をさわやかな5月の風が吹き抜けていきました。



裏高尾の盟主、景信山頂(727m)に全員無事たどり着き、心地よい達成感とともに集合写真をパチリ。山頂ではなめこのお味噌汁を提供させていただきました。

その後、ゆったりコースは関東ふれあい道を巡り、小仏峠を経てスタート地点へゆったり戻りました。たっぴりコースは、小仏峠を経て、尾根沿いに小仏城山を目指しました。一丁平付近には、満開のホオが出迎えてくれました。もちろん感嘆の声は「ほお〜」。日影沢林道を抜けて全行程約9kmを、楽しく歩き切りました。



■誰が、何してる？(1ページ)の答え・・・

- ①ウサギが、巣穴に糞を運んでいる！(後姿) @菅平牧場にて
- ②遊び隊員が、フライパンに残った肉まんをの具を
なめるように食べている！ @自然体験の森にて
- ③沢の脇で見つけたカタツムリが、ウ〇チをしている！
@自然体験の森にて

菜園だより

やまぼうし自然学校が自家菜園を始めて3年目となります。初年度は菅平の自然体験の森の一角に、キャンプ用にと大根たっぷりとなすかなジャガイモ。そして小さなビニールハウスにミニトマトとキュウリ。菅平高原から、少し上田市街方面に下った真田の西沢農園の片隅に、ナス類、サトイモ、カボチャなどを育てました。

2年目は前年の反省を生かし再挑戦。3年目の今年は反省と自戒をさらに深めて次のような作付となりました。

■菅平高原 自然体験の森

・花豆(初挑戦！)・トウモロコシ・ニンジン・大根・ラディッシュ・ジャガイモ・ミニトマト(5種！)・キュウリ

■真田 西沢農園

・サトイモ・ナス(5種)・ズッキーニ・ピーマン・シシトウ・パプリカ(2種)
・カボチャ(2種)・ミニトマト(5種)・食用菊・長ネギ・玉ネギ・サツマイモ

今年の目玉は、なんといっても広大なサツマイモ畑です。ベニアズマ200本、ムラサキイモ50本・・・計250本のサツマイモの苗を植えました。隣で菜園をやっている方が、あまりの数の多さに何に使うのかと心配して下さったほどです。ちなみに、昨年は20本植えて、とてもいいサツマイモがたっぷり収穫できました。そうなんです「昨年の成果を踏まえての収益事業への挑戦」のための植え付けです。菅平ハイランド産の干しイモ生産の準備なのです。昨年試作した干しイモのおいしさに感嘆し、今年はたくさんつくってみなさんにも味わってほしい！ということになりました。高原の冷涼で乾燥した風で干した芋だから、名産地茨城の干芋にも引けをとらないのではないかと、自画自賛・・・そして乞うご期待！



この2年間、子どもたちへ、どのようにして野菜ができるのか、採りたて野菜の甘さ、収穫の楽しさなどを感じてもらえたらと思いながら作付をしてきました。同時に、旬の大切さ、環境に合った農作物は何かにも思いをはせてほしいと思ってきました。まだまだ試行錯誤の連続です。無農薬、有機栽培を目指して地元の篤農家さんの助言を受けながら進めています。

6月下旬より、キュウリやトマトなどたくさん収穫できそうです。それを肴に、反省と自戒の話を聞いてくれませんか？あまりに多すぎて、書ききれませんので・・・みなさんの畑でのあれこれも聞いてみたいです。排水性の悪い畑の土壌改良への有力情報もお寄せください(ある小学校の先生から、ご相談があったのです)。おいしいお酒も宿もたくさんある、菅平でおまちしています。干芋予約も、受付中です！



↑初採りズッキーニ(6/28)

いちおし自然体験

見たことがある人がいても、なかなかやったことのある人のいない「マイギリ式火熾し」で火を熾し、ピザも生地からつくるスローフードプログラムです。

火熾しは、慣れるまでは思い通りに動いてくれません。でも、みんなの熱い視線と、回転を止めない交代の方法（これ、とっても重要！）が確立されたころ、白い煙がすうっと立ち上ります。「OO、ファイト、OO、ファイト」、リズムのよい周りの声援も、スムーズに火をつけるのに欠かせません。

傍らでは、火種をやさしく包み大きな火にする、通称「ふわふわ」づくりも。杉の皮を細く裂いてほぐしてたたいて……。リスの巣のように、ふわふわにするのです。

縄文火熾しと窯焼きピザ 2時間～¥1,575 最少催行人数 30名

ピザ生地は、材料を量って、レシピには「適量」としか書いていない、絶妙な量のぬるま湯を加えてこねます。ピザの具は、その時々によって旬の野菜が加わることも。以前の例では、フキノトウ、コブシの花、ヒラタケ、レタスなどなど。

そして、森のクッキングシート、笹の葉を敷いたトレーで焼くピザの味は……。どうぞご自分の舌で体験してみてください！大人も子どもも、やみつきます。



+++++会員と読者の交流ステージ+++++

チームねこばば（女性サイクリストチーム）加藤さんより被災地応援情報

◆ 自転車走って、被災地を応援しよう！ 1km=10円 運動 ◆

この運動は募金活動ではなく、大震災を忘れないための運動です。自転車が大好きな仲間アイディアをもとに、自転車走った距離を1km=10円と換算し、それのためにお金を復興支援のために使おうと呼びかけています。自分も楽しみながら、継続して被災地を支援していきます。貯めたお金で、風評被害にあっている東北地方の安全な野菜を購入したり、被災地にツーリングに行くのもよいですね！

何より自転車に乗ることを楽しみながら、風を切って走れることに感謝しながら、ずっとずっと震災のことを忘れないようにしていきたいと思います。

チームねこばば HP <http://teamneko88.blog42.fc2.com/>
比企チャリ日記 <http://hikicyari.cocolog-nifty.com/blog/>



やまぼうし自然学校 インタープリター養成講座

今年の長野本校では、やまぼうし自然学校インタープリターとして大活躍すること、森遊びの達人になることを目指す講座を開催しています。ぜひ一緒に、森とつながる活動を楽しませんか？参加費は、第1～4回：2,000円/回、オプション：3,000円/回です。年齢、野外経験は問いません。詳細はホームページをご覧ください。

こんなことが学べます

第2回	目指せキャンプの達人！キャンプ技術の習得	7月
第3回	プログラムの実践力	9月
第4回	森を守る、育てる、活用するための森林整備	11月
オプション講座		
観察プログラムにおけるインタープリテーション		6～9月
(森林、土壌、野鳥より選択)		

■前回、一般参加者として参加したスタッフけみちゃんの感想は……

講座に参加して、一番印象に残っているのはその場にある笹を採って作った、笹茶です。笹がお茶になることは知っていましたが、用意されたものではなく、その場にあるものを使って野外で調理するということがとてもインパクトのある経験でした。インタープリテーションをしていく上で、参加者と同じ「わぁっ」となる経験が生きていくと思います。また、色々な年代の方が参加していて、わきあいあい、受講生同士が教えあったり、感動をわかちあったりと交流ができたのが楽しかったです。みんなが仲良くなれるように、スタッフが場づくりをしていたんだなあと、今ならわかります★とにかく楽しいので、ぜひ皆さんご参加ください。

■インタープリターとは……

インタープリターには、通訳者という意味があります。やまぼうし自然学校インタープリターは、自然の言葉を人間の言葉に翻訳する「森の通訳」＝「森の案内人」です。自然の不思議に詳しいだけでなく、参加者を楽しませたり、主体性を引き出したり、自然からのメッセージを効果的に伝えたりする能力が必要です。



第2回のご案内

2011年7月2日(土)、または6日(水) 10:00-16:00

「キャンプシーズン直前！目指せキャンプの達人」

- ・キャンププログラムで大切にしていること・道具の取り扱い
- ・テントのたてかた・使える！ロープワーク・野外料理 など

お申込み

開講日の3日前までに、ご希望の日程をHPの申込みフォーム、メール、電話、FAXにてお申込みください。両日同じ内容です。

支援から支縁へ ～ 東日本大震災ボランティア体験記 ～

やまぼうし自然学校インタープリター 村重 恵美

岩手県陸前高田を仕事で訪ねたのは一昨年。そこに戻り復旧に関わる術を探そうと「遠野まごころネット」を見つけました。遠野市からは陸前高田、釜石、大槌町など沿岸部まで1時間程。個人ボランティアを受け入れ、寝る場所を提供してくれる…迷い無く参加を決めました。誰かに話すつもりなどない9日間の私的行動でした。ですがひと月を経て、体験や現状を誰かに伝え、支援をつなげたいという思いが強く残っています。



初日は遠野で支援物資倉庫の活動（仕分けや陳列、被災者の手伝いなど）に加わりしました。遠野に避難する人、遠くから訪ねてくる人、物資を求める列は1日中途切れません。荷物は度々到着しますが、食料、洗剤、おむつなど、必需品はまったく足りませんでした。

その後は陸前高田市の避難所に通い、調理作業に従事しました。生鮮品が無い中、工夫を重ねました。お茶の時間は被災者の皆さんとふれあえるひととき。おやつ作りをかって出て、果汁寒天、ねぎ味噌の薄焼き、りんご煮と3回も信州の味を紹介しながらお話ができたのは貴重な思い出です。



差し入れの山菜のかき揚げ

ここでの活動中、仮設ながら水道が復旧し、蛇口から水がでる瞬間に居合わせ、皆さんと共に喜びました。とは言えお風呂は近隣にありません。入浴施設に出かけて行く手段も依然ありません。

合間の1日は田んぼの片付けに参加しました。鉄骨さぐグニャグニャにまがった高田市街地を通る時には、涙があふれました。帰り道も同じでした。海から遠い棚田には、あちこちに家の2階部分だけが点在していました。ヘドロの中から瓦礫、貴重品、魚、あらゆる物を重機の入る通路まで運び出す作業を繰り返しました。果てしなく広がる荒廃地に何回も呆然としましたが、きれいになった部分を見ると人間の底力を信じることができました。



田んぼの清掃



清掃後

ボランティア活動は自己完結が原則、まごころネットはそれを助けてくれました。装備や安全確保の指南、シャワーや電子レンジの提供、移動のバス、すべてボランティアパワーの結晶でした。

「それぞれの場所でできる事を続けて行きましょう。」帰り際ボランティアコーディネーターさんがかけてくれた言葉です。今は自宅で写真修復作業に参加しています。

イベント情報

やまぼうし自然学校の会員の方は・・・◆長野本校イベント 毎回参加費50%割引(半額!)
◆首都圏イベント 毎回参加費10%割引!さらに、3回参加で次回50%割引

♪ サマーキャンプ in 信州 ★ 菅平高原 ♪

「やってみたい!」を大切に、沢も森も遊びつくす4日間。ちょっぴり不便なキャンプ生活も、不便を楽しみ、工夫とアイデアと森の恵みがあれば心地よくなることを体感するキャンプです。やまぼうし自然学校と宿泊施設、24時間寄り添うキャンプアシスタント。三者の万全の協力体制で初めてののお泊りも安心です。焚き火料理、たっぴり森遊び、豪快焚き火料理、テント泊、ものづくり、五右衛門風呂などなど。(主催:長野県旅行業協会)

日程	① 7月24日(日)～27日(水) ② 7月27日(水)～30日(土)
	③ 7月30日(土)～8月2日(火) ④ 8月2日(火)～5日(金)
	⑤ 8月5日(金)～8日(月) ⑥ 8月8日(月)～11日(木)
	⑦ 8月17日(水)～20日(土) ⑧ 8月20日(土)～23日(火)

宿泊	1日目と3日目は宿泊施設泊、2日目はテント泊
集合・解散場所	新宿駅または菅平高原
募集	30名
対象	小学1年生～6年生、中学生
参加費	49,500円(食事、宿泊、指導、資料、保険込) ※菅平高原集合解散の場合 40,500円
お申込み	長野県学習旅行誘致推進協議会公式ホームページ または、やまぼうし自然学校へ申込書を請求してください
申込締切	各コースの開催日1週間前

長野本校

♪ やまぼうし原人キャンプ ♪ 子どもゆめ基金助成事業

むかしむかし、菅平高原には、森のめぐみに感謝しながらひっそり暮らす菅平原人がいたという。そんなご先祖の森で五感を研ぎ澄まし、大地を踏みしめる4日間。道具を操って原人グッズをつくったり、森遊び、沢のぼり、豪快原人焚き火料理、原人風呂などなど。最後の夜には「原人祭り」を復活させよう!

日程	8月12日(水)～15日(土)
宿泊	全泊テント泊
集合・解散場所	菅平高原または池袋駅
募集	30名
対象	小学1年生～6年生、中学生
参加費	30,000円(食事、宿泊、指導、資料、保険込) ※池袋からご参加の方は、別途交通費3,220円が必要です
申込締切	7月31日(日)



長野本校

■ キャンプアシスタント募集中 ■

サマーキャンプ in 信州 菅平高原を、一緒につくってくれる
キャンプアシスタントを募集しています。詳細は、HPをご覧ください。

日程	7月24日(日)～8月23日(火)のサマーキャンプ in 信州開催日
時間	キャンプの集合(新宿または菅平高原)から解散、後片付けまで(3泊4日)
募集人数	各コース2～8名(参加者の人数によって異なります)

♪ 秋のいつでもガイド ♪ ●秋の森散策 ●森のクラフト



さわやかな秋風とともに、実りの秋を満喫しましょう。ご希望日の3日前までに、体験希望日と時間帯(① or ②)、希望プログラム(散策 or クラフト)をお知らせください。都合により、催行できない日もありますので、事前に必ずご予約ください。

日にち 9月 ~ 11月 の希望日 ※1名様より催行いたします
時間 ①9:30 ~ 11:30 ②13:00 ~ 15:00
集合解散場所 上田市菅平高原 やまぼうし自然学校事務所
参加費 小学生~大人 1人 2,000円 幼児無料

長野本校

※保護者の同伴が必要です

申込締切 実施日の3日前まで

♪ 竹林整備とMyカップづくり ♪

竹用ノコギリを使って、竹藪を将来タケノコの生える気持ちのよい竹林へと整備します。伐った竹は、素敵なMyカップに変身&乾杯! 道具は全てご用意します。

日にち 9月17日(土)
集合解散場所 上田市 染谷の森
参加費 小学生以上 1,000円 ※2011年度JT青少年育成に関するNPO助成事業
申込締切 9月14日(水)

長野本校

♪ 秋の大人のキャンプ ♪

食欲の秋はもちろん、実りの秋、読書の秋、そしてキャンプの秋! 昼間は思い切り遊び、夜が更けたら大人の夜会。キャンプ初心者大歓迎! キャンプ道具は全てご用意!

日にち 9月17日(土)~19日(月・祝) 2泊3日 ※1泊参加応相談
集合解散場所 上田市菅平高原 やまぼうし自然学校事務所
参加費 18歳以上 1人 17,000円
(食費、宿泊費、指導費、資材費など込み)

長野本校

内容 豪快焚き火料理、ものづくり、食材調達、バードウォッチング、トレッキングなど、みんなのやりたいこと会議で決めます!

申込締切 9月12日(月)

※申込いただいた方に持ち物など詳細をご案内します

♪ 秋の森遊び と 焚き火料理 ♪

秋の森の彩りを、体いっぱい、おなかいっぱい楽しむ一日。焚き火のあたたかさがうれしい季節、家族みんなで参加ください。秋の森のお土産作りもお楽しみに。

日にち 9月23日(金・祝) 10:00~15:00
集合解散場所 上田市菅平高原 自然体験の森
参加費 大人 1,800円、小中学生 1,000円、幼児無料
申込締切 9月20日(火)

長野本校

スタッフよりひとこと



吉岡明美(けみちゃん) NEW FACE!

自然学校と言えども、先生は私ではなく自然。大切なことはみんな自然が教えてくれるから、私自身は何をしてあげるでもなく、ただ幸せな気持ちでいるだけで周りを幸せにしているんだと思っています。そして今、やまぼうし自然学校にいたことが私を幸せにしています。3歩進んで2歩下がる日々ですが、1歩ずつ進んでいきたいです。よろしくお願いします!



瑞慶寛明子(すけちゃん)

「人は、3ヶ月たつと急速に忘れていく」と聞いた。
6月で3ヶ月。標高10m=¥10支援の山歩きをやろうと決めた。自転車で走り回る友達からもらったヒント。大好きな登山でつながっていられば、嬉しい。今回の震災は、忘れられるようなものじゃない。どこにいてもずっとつながっているべきものだ。



佐藤明希(あっさい)

「被災していない人は、今より2倍元気になって、半分を被災地へ」。ラジオからの声に、はっとした。グリーン期に入って、子どもたちの前に立つことが増える今、何を発信すべきか…。言葉にすることで、自分の思いもゆっくりとまとまってくる。発信できる機会があることに感謝し、丁寧に言葉を紡ぎたい。



西澤純子(じゅんじゅん)

「かわいいね!」。作ったばかりのサンドイッチを片手に、真っすぐ目を見て言われた言葉。4歳の、それはそれは「可愛い」女の子が声の主。こんなに小さい子に言われるとは(笑)。その子のお母さんと一緒に大ウケした。今までで一番嬉しい「かわいいね」だったなあ♪



保母裕美(ほぼちゃん)

娘の小学校で、給食当番のエプロンが自分持ちになり購入しました。洗濯後アイロンをかけていて何かおかしいと思ったら腰のあたりで結ぶ紐が、マジックテープのベルトに! 紐結びの練習の機会を奪ってしまいよくないと思いました。靴紐も減りましたね。



石川順子(じゅんこさん)

箱根山。人造だが山手線内では一番の標高という。暑い日だったが登ってみると風が通りひんやり涼しい。(登頂時間1分)大久保通り、明治通りという幹線道路の騒音はまったく気にならない。「ふもと」にある小学校で環境学習のお手伝いをするようになった。都心に宝の山を探し当てたような楽しさである。



仲川好乃(よっちゃん)

日々の気温差に、すでに夏ばて気味?! 長期予報では暑い夏になりそうとの事省エネしつつ快適に過ごす工夫を模索中!!!
良い案がありましたらご一報ください。



長谷川功(はせじい)

例年7月になるとベルトの穴が1つ余るのですが、今年は早くも6月中に余ってしまいました。第二繁忙期を前にして、体も頭も精神も、キレの良さを目指します。